

RACE REPORT



S U P E R
FORMULA

Round.03 **AUTOPOLIS**

第3戦 オートポリス

2026年4月26日(日)

決勝

天候：雨 路面：ウエット

#38 阪口 晴南

#39 大湯 都史樹

天候の回復が見込めないため決勝は中止

4月25日(土)に行われた公式予選では、ドライコンディションのもと阪口晴南が好調をキープし5番手を獲得する一方、大湯都史樹は不調のなか11番手につけることになったSANKI VERTEX PARTNERS CERUMO・INGING。さらなる上位進出を目指し、4月26日(日)の決勝日を迎えた。

ただ、この日のオートポリスは前日とは違って朝から雨模様。コースはウエットコンディションに変化していた。午後の決勝レースも雨天の天気予報が出ており、チームはフリー走行を使ってウエットでのセットアップの確認を行っていった。

PRACTICE/RACE フリー走行/決勝

4月26日(日) 9:40~10:00 天候：曇り/雨 路面：ウエット
ベストタイム #38 阪口晴南 1'38.187 / #39 大湯都史樹 1'39.521

早朝こそ雨脚が強かったオートポリスだが、フリー走行直前に行われたスーパーフォーミュラ・ライツ第5戦の決勝レース直前に雨は止み、路面は少しずつ乾きはじめていた。

そんな中、午前9時40分からスタートしたスーパーフォーミュラのフリー走行でSANKI VERTEX PARTNERS CERUMO・INGINGの阪口と大湯は、ウエットタイヤを装着し周回を重ねていくが、「もてぎでのウエットの感触とはまったく違う印象で困惑しましたが、みんながそんな感じだったのでは」と阪口が振り返るものだった。また大湯も「良くない印象でした」というフィーリング。決勝に向けた課題が多いことを感じさせた。

レースに向けて取り組みたい内容も多かったが、開始から20分というタイミングで、#3 ルーク・ブラウニングがクラッシュ。赤旗中断となり、そのままフリー走行2回目は終了してしまった。

その後もオートポリスは雨は降らず、路面は少しずつ乾きはじめていたが、昼ごろにはふたたび雨が降り出した。決勝レースに向けたウォームアップでは雨脚が強まり始めるなか、阪口、大湯ともレースに向けたセットアップ変更を確認。特に大湯はウエットでのレースに向けて好感触を得ていた。

レースに向け着々と準備が進む一方で、無情にもオートポリスの雨脚は強まってしまった。午後2時30分のフォーメーションラップスタートを前に、レースコントロールはディレイが決定。午後2時48分にセーフティカー先導のもと隊列が動き出したが、雨脚が強まり、視界も悪くなった。

セーフティカーランはわずか1周に満たないタイミングで赤旗に切り替えられ、ふたたびグリッド上でストップ。午後3時20分、天候の回復が見込めないため中止が決定された。

今後、代替レースについてはサーキット、オーガナイザー等とも協議の上決定される。



COMMENTS

ドライバー／監督コメント



38 阪口 晴南 SENA SAKAGUCHI

「フリー走行ではしっかり計測も行いましたが、もてぎでのウエットとはまったく違う結果になったので、少し困惑しました。みんながそうだったと思うのでパフォーマンスが足りないわけではないのですが、レースに向けてかなり対策しなければと感じたセッションでした。このオートポリスはチャンスがあるコースだと思っていたので、ドライコンディションでレースがしたかったので残念ですね。オートポリスに観戦に来てくださった皆さんには申し訳ないのですが、このレースの代替がきちんと成立すればと思っています。次の鈴鹿は苦戦することも多いですし、速い顔ぶれが割と決まっているのですが、今季上がっている僕たちのベースが通用するか楽しみです」



39 大湯 都史樹 TOSHIKI OYU

「ウエットコンディションとなったフリー走行2回目はあまり良いものではなかったのですが、スタート直前のウォームアップでは大きくセットアップを変え、手ごたえを感じるものになっていました。それほど走れているわけではないですし、今週厳しい状況だった中で、結果に結びついているわけではないのですが、ステップを踏むことができた週末だったと思います。ファンの皆さんの前で今日レースができなかったことは残念ではありますが、今回いまひとつだったところが多かったので、代替レースになるのは問題解決のための準備ができるという意味でポジティブにとらえています。今回の問題の要因をひとつずつ分析して、次に繋がりたいと思っています」



立川 祐路 監督 YUJI TACHIKAWA

「ファンの皆さんにレースをお見せすることができませんでしたし、チームとしても2台がともに上位を狙える予選グリッドを得ていたことで、中止という決定はすごく残念です。ただ、天気予報でも雨がどんどん強くなる情報もありましたし、レースができるコンディションではありませんでした。とても残念に思っていますし、楽しみにしてくださっていた皆さんには申し訳なく思っています。今回レースができなかった分、次大会の鈴鹿での2レースではチーム一丸となって良いレースができるよう、しっかり準備を進めていきたいと思っています。この週末もたくさんの応援ありがとうございました」

